

「回復期病棟」開設2年目、さらなる質の向上を
急性期から回復期、生活期まで一貫したリハビリ

脳疾患と心疾患を中心に、急性期から回復期、生活期リハビリまで切れ目のないリハビリテーションを提供している。

それにより、病気を発症して入院、自宅に帰り、さらには退院後の生活のアフターフォローに至るまで、同じコンセプトでリハビリに取り組むことができる。

ひとつの病院で、急性期・回復期・生活期のリハビリが完結できるので、転院などの環境の変化がなく、安心感をもってリハビリに取り組める。

急性期・回復期リハビリを行う院内の「脳・心臓・内科リハビリチーム」では、重度片麻痺患者の歩行をアシストする下肢装具治療を、退院後の生活をイメージしながら超急性期から積極的に歩行練習に活用している。また心疾患や人工透析を受けられて



▲リハビリ室

いる方にも安全な回復期リハビリを提供できるように努めている。

一方、「生活期リハビリチーム」は、自宅での生活サポートや介護保険、福祉用具の活用などに長けており、また退院支援についてもサポートしている。

「今年は、回復期病棟の開設2年目で、リハビリの質の向上や院内体制の強化を図り、〝したい〟を〝できる〟に変えるチーム医療の実現を目指して、医師・看護師・リハビリスタッフが「丸」となつて取り組んでいます」と安部陽子リハビリテーション室長。



▲札幌白石記念病院



社会医療法人翔会
札幌白石記念病院

札幌市白石区本通8丁目南1番10号
電話(011)863・5151